

# 東シナ海陸棚域の物質循環に関わる物理・化学・生物過程

日時 2013年6月2日(日)～3日(月)

場所 名古屋大学高等総合研究館

1階106号室カンファレンスホール

## プログラム

6月2日(日)

13:30-14:00 東シナ海・黄海の潮汐同化モデル

岩清水徳堂・森本昭彦・郭新宇・王玉成・滝川哲太郎

14:00-14:30 台湾海峡通過流量のモニタリングー季節変動と風との相関

松野 健、C.-T. Liu、福留研一、市川香

14:30-15:00 対馬海峡東縁で観測されたフロント渦

千手智晴・新原翔一

15:00-15:30 休憩

15:30-16:00 Seasonal response of standing stock of nutrient and Chl.a in the East China Sea to the nutrients with different sources

Xinyu Guo

16:00-16:30 九州西方海域表層における Chl.a と Synechococcus の季節変化

長谷川徹

16:30-17:00 東部東シナ海表層におけるナノモルレベル栄養塩の季節的変動

江藤祐輔、武田重信

18:00- 懇親会

6月3日(月)

9:30- 9:50 中国海洋大学「東方紅」との共同観測計画

張勁

9:50-10:10 漂流ブイと ADCP を併用した乱流微細構造観測のまとめと今年度の観測計画に対する指針

遠藤貴洋・松野 健・吉川 裕

10:10-10:30 東シナ海の窒素・リン循環でこれまでに得られた知見と、今年度の観測計画

梅澤有・山口聖・野崎龍

10:30-10:50 基礎生産に関わる物質輸送量の評価と今年度の観測計画

石坂丞二

10:50-11:10 現場型硝酸塩センサーを用いた硝酸塩躍層の把握と今年度の観測計画

武田重信・田中大揮

11:10-11:20 休憩

11:20-12:00 観測計画の策定